

2018
年度

オープンキャンパス模擬授業



第1部

11:00～11:45 N305講義室

国際関係ってなんだろう？

キミのスマホから世界が見えてくる

高橋 力也（国際総合政策学科・助教）

普段は「国際関係論」の講義を担当しています。「国際関係」と耳にすると、何か小難しい響きがあるかもしれませんが、しかし、その中身を覗いてみると、意外にも我々は身近なものを通して世界と繋がっていることに気づきます。この授業では、今や生活必需品となった「スマホ」がもたらす利便性の舞台裏に皆さんをお連れします。あなたのスマホは、どこから来たのか知っていますか？もしあなたのスマホが、どこか遠い国の誰かの不幸の原因となっていたとしたら？少し刺激的な問いを用意して、皆さんをお待ちしています。



第2部

13:00～13:45 N305講義室

恋はなぜ悲しいのか

〈文化資本＝教養〉としての恋愛観

高塚 浩由樹（国際教養学科・准教授）

恋愛を研究？そう聞くと、驚く方が多いかもしれませんね。でも、国や時代によって、そして個人の知識によって変化する「恋愛観」は、国際的な比較研究の対象となり、個人の教養にも直結する、極めて「国際教養」的な研究対象なのです。私は「フランス語」や「日欧比較文化論」という科目を担当していますが、今回は、後者で扱っている「西洋の伝統的恋愛観の起源と特徴」を紹介し、現代の日本のラブストーリーとの比較も試みます。



第3部

14:00～14:45 N308講義室

今日の日本の援助

MDGsからSDGsへ

富岡 丈朗（国際総合政策学科・准教授）

私はこの学部で「国際協力論」や「NGO/NPO論」などの講義を担当しています。この模擬授業では、貧困問題に対する国際社会の援助の変遷を踏まえながら、1954年に始まった日本の政府開発援助について話したいと思います。特に第2次大戦後の援助物資やインフラ整備など先進国主導の援助から、2000年を機に「貧困削減」を主目的とし、先進国と発展途上国が共同しながら進めてきた「ミレニアム開発目標（MDGs）」の流れと、さらに2030年をゴールとした「持続的開発目標（SDGs）」に焦点を当て、解説していきます。